

2011年 夏の節電行動計画について



東日本大震災による電力施設への被害発生を原因とする電力供給不足を受け、政府は夏期の電力需要ピーク期間・時間帯（7月～9月の平日9時から20時）における最大使用電力を15%抑制することを決定しました。

東京信用保証協会では以下のとおり「節電行動計画」を策定し、9月30日までの間、省エネ、節電に取り組んでまいります。

1. 本店ビル・用賀センターにおける節電への取り組み

(1) 最大使用電力についての削減目標

◆昨年夏ピーク比で最大使用電力マイナス15%以上削減

	本店ビル	用賀センター
昨夏における最大使用電力	458kW	377kW
今夏における政府削減目標値(15%)	389kW(▲69kW)	320kW(▲57kW)
今夏における最大使用電力の目標	379kW (▲79kW、17%削減)	316kW (▲61kW、16%削減)

(2) 目標達成のための具体的な方策

	取組内容
① 照明設備 消費電力に占める割合 本店ビル 約16% 用賀センター 約10%	<ul style="list-style-type: none">▶ 照明の間引き、消灯(事務室スペース40%、共用スペース75%程度の間引き、消灯による節電)▶ 不在箇所のこまめな消灯▶ 一部照明のLED化(本店ビル) 節電効果 本店ビル：▲6.5%(30kW) 用賀センター：▲6.1%(23kW)
② 空調設備 消費電力に占める割合 本店ビル 約70% 用賀センター 約61%	<ul style="list-style-type: none">▶ 温度設定の引き上げ(室温28℃設定)▶ 外気取り入れ量の調整など効率的な運転▶ <u>ブラインドの活用による日射負担の軽減</u> 節電効果 本店ビル：▲9.8%(45kW) 用賀センター：▲8.0%(30kW)
③ 室内機器 消費電力に占める割合 本店ビル 約10% 用賀センター 約25%	<ul style="list-style-type: none">▶ <u>パソコン・モニターについて省電力モードの活用</u>▶ <u>冷蔵庫の温度設定見直し(弱設定)</u>▶ 便座ヒーター、温水洗浄機能の停止▶ 電気式給湯器の温度設定見直し(本店ビル) 節電効果 本店ビル：▲0.5%(2kW) 用賀センター：▲1.0%(4kW)
④ その他 消費電力に占める割合 本店ビル 約4% 用賀センター 約4%	<ul style="list-style-type: none">▶ <u>階段利用による近隣階への移動</u>▶ 夜間電力を利用した氷蓄熱空調活用のため21時以降は空調延長を行わない(本店ビル)▶ 自動販売機の消灯▶ エレベーター3基のうち1基停止(用賀センター) 節電効果 本店ビル：▲0.5%(2kW) 用賀センター：▲1.0%(4kW)
緊急節電の対応	▶ ①～③およびエレベーターの稼働を一時的に停止

2. 分室・支店における節電への取り組み

テナントビルに入居している分室・支店においても、各ビルで策定した節電計画に最大限協力するとともに、独自に取り組みが可能な項目については、本店同様に節電対策を実施します。

※ 例：『(2) 目標達成のための具体的方策』の取組内容の下線が付いた項目